

	短篇作品集名	出版社名	短篇作品名
S48	1-暗殺の年輪	文藝春秋・文春文庫	黒い縄・暗殺の年輪・ただ一撃・くらい海・囃の5篇
S49	2-又蔵の火	文藝春秋・文春文庫	又蔵の火・帰郷・賽子無宿・割れた月・恐喝の5篇
	3-闇の梯子	文藝春秋・文春文庫	父(ちゃん)と呼べ・闇の梯子・入墨・相模守は無害・紅の記憶の5篇
S51	4 - 冤罪	青樹社・新潮社	証人・唆す・潮田伝五郎置文・密夫の顔・夜の城・臍曲がり新左・一頼のうり・十四に目の男・冤罪の9篇
	5-暁のひかり	光風出版・文春文庫	暁のひかり・馬五郎焼身・おふく・穴熊・しづとい連中・冬の潮の6篇
	6-逆軍の旗	青樹社・文藝春秋・文春文庫	逆軍の旗・上意改まる・二人の失踪人・幻にあらずの4篇
	7-竹光始末	立風書房・新潮社・新潮文庫	竹光始末・恐妻の剣・石を抱く・冬の終りに・乱心・遠方より来るの6篇
S52	8-時雨のあと	立風書房・新潮文庫	雪明り・闇の顔・時雨のあと・意気地なし・秘密・果し合い・鱗雲の7篇
S53	9-闇の穴	立風書房・新潮文庫	木綿触れ・小川の辺・闇の穴・閉ざされた口・狂気・荒れ野・夜が軋むの7篇
S54	10-長門守の陰謀	立風書房・文春文庫	夢ぞ見し・春の雪・夕べの光・遠い少女・長門守の陰謀の5篇
	11-神隠し	青樹社・新潮文庫	拐し・昔の仲間・疫病神・告白・三年目・鬼・桃の木の下で・小鶴・暗い渦・夜の雷雨・神隠しの11篇
S55	12-はしり雨	新潮社・講談社	贈り物・うしろ姿・ちきしょう!・はしり雨・人殺し・朝焼け・遅いしあわせ・運の尽き・捨てた女・泣かない女の10篇
	13-雪明かり	青樹社・講談社文庫	恐喝・入墨・潮田伝五郎置文・穴熊・冤罪・暁のひかり・遠方より来る・雪明かりの8篇
	14-橋ものがたり	実業之日本社・新潮文庫	約束・小ぬか雨・思い違い・赤い夕日・小さな橋で・氷雨降る・殺すな・まぼろしの橋・吹く風は秋・川霧の10篇
S56	15-夜の橋	文春文庫・中央公論社	鬼気・夜の橋・裏切り・一夢の敗北・冬の足音・梅薫る・孫十の逆襲・泣くな、けい・暗い鏡の9篇
	16-時雨みち	青樹社・新潮文庫	帰還せず・飛べ、佐五郎・山桜・盗み喰い・滴る汗・幼い声・夜の道・おばさん・亭主の仲間・おさんが呼ぶ・時雨みちの11篇
	17-へそ曲り新左	文藝春秋	篇
	18-父(ちゃん)と呼べ	文藝春秋・新潮文庫	賽子無宿・帰郷・恐喝・父と呼べ・闇の梯子・入墨・馬五郎焼身・おふく・穴熊の9篇と市井の人びと(一)巻末エッセイ
	19-霜の朝	青樹社・新潮文庫	報復・泣く母・噓(くしゃみ)・密告・おとくの神・虹の空・禍福・追われる男の8篇
S58	20-冬の潮	文藝春秋	時雨のあと・冬の潮・しづとい連中・秘密・意気地なし・暁のひかり・石を抱く・閉ざされた口・狂気・荒れ野・春の雪・遠い少女の12篇と市井の人びと(二)巻末エッセイ

	短篇作品集名	出版社名	短篇作品名
S59	21-龍を見た男	青樹社・新潮文庫	帰って来た女・おつぎ・龍を見た男・逃走・弾む声・女下駄・遠い別れ・失踪・切腹の9篇
S60	22-決闘の辻	講談社・講談社文庫	又蔵の火・帰郷・賽子無宿・割れた月・恐喝の5篇
	23-花のあと	青樹社・文春文庫	鬼ごっこ・雪間草・寒い灯・疑惑・旅の誘い・冬の日・悪癖・花のあとの8篇
	24-潮田伝五郎置文	東京文藝社	潮田伝五郎置文・裏切り・鱗雲・帰ってきた女・かどわかし・暗い鏡・泣かない女・二天のあなぐら・山桜の9篇
S62	25-早春	文藝春秋	深い霧・野菊守り・早春/随想など・小説の中の事実・遠くて近い人・ただ一度のアーサー/ケネディ・碑が立つ話の5篇
S63	26-たそがれ清兵衛	新潮文庫	たそがれ清兵衛・うらなり与右衛門・ごますり甚内・ど忘れ万六・だんまり弥助・かが泣き半平・日和見与次郎・祝い人助八の8篇
S64	27-麦屋町屋下がり	文藝春秋・文春文庫	麦屋町屋下がり・三ノ丸広場下城どき・山姥橋夜五ツ・榎屋敷宵の春月の4篇
H3	28 - 玄鳥	文藝春秋・文春文庫	玄鳥・三月の鮠・間討ち・鷓鴣・浦島の5篇
H6	29-夜消える	文藝春秋・文春文庫	夜消える・にがい再会・永代橋・踊る手・消息・初つばめ・遠ざかる声の7篇
H8	30-日暮れ竹河岸	文藝春秋・文春文庫	朝顔・飛鳥山・うぐいす・大はし夕立ち少女・おぼろ月・枯野・桐畑に雪のふる日・猿若町月あかり・品川洲崎の男・梅雨の傘・年の市・晩夏の光・日暮れ竹河岸・三日の鮠・明鳥・雪の比丘尼橋・夜の雪の17篇
H9	31-藤沢周平の世界	文藝春秋・文春文庫	向井敏・丸谷才一・常盤新平・井上ひさし・篠山三郎ら26人による、選んだ作品についての論評を繰り広げている。暗殺の年輪・又蔵の火・用心棒日月抄・一茶・橋ものがたり・海鳴り・風の果て・蝉じぐれ・三屋清左衛門残日録・よろずや平四郎活人剣など18作品と14篇のエッセイ。
H10	32-静かな木	新潮社・新潮文庫	岡安家の犬・静かな木・偉丈夫の3篇
H19	33-海坂大全 上・下	文藝春秋	暗殺の年輪・相模守は無害・唆す(そそのかす)・潮田伝五郎置文・鬼気・竹光始末・遠方より来る・小川の辺り・木綿触れ・小鶴・梅薫る・泣くな、けい・泣く母・山桜・報復・切腹・花のあと・鷓鴣(みそざさい)・岡安家の犬・静かな木・偉丈夫など21篇の海坂藩ものを収録。
H21	34-無用の隠密 (未刊行初期短篇)	文春文庫	暗闘風の神・如月伊十郎・木地師宗吉・霧の壁・老彫刻師の死・木曾の旅人・残照十五里ヶ原・忍者失格・空蟬の女・佐賀屋喜七・浮世絵師・待っている・上意討・ひでこ節・無用の隠密の15篇
H23	35-初つばめ	実業之日本車文庫	はしり雨・遅いしあわせ・運の尽き・泣かない女・踊る手・消息・初つばめ・夜の道・おさんが呼ぶ・時雨みちの10篇